

～今井式すっぽんデンチャーを応用～

総義歯の理論を徹底的に追及、
少ない埋入本数でも安定咀嚼、こうすればうまくいく!

インプラント オーバーデンチャー

講師 | 今井 守夫先生

ぐみょう今井歯科医院 院長・理事長・歯学博士 モンゴル国立医科大学 客員教授
松本歯科大学 非常勤講師 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本口腔インプラント学会専門医 ハイオインテグレーション学会・指導医・理事
日本一般臨床医矯正研究会認定医・常任理事 介護支援専門員

11月18日 日 10:00～15:30

定員 | 40名 | 参加費 | 12,000円
お弁当付

東京 / 東京八重洲ホール 201会議室 東京駅から徒歩5分
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-13
TEL: 03-3201-3631

お申込方法 | 下記のお申込書にご記入の上FAXを送信お願いします。

受講料は下記銀行口座までお振込ください。
お振込確認をもちまして正式なお申込受付とさせていただきます。

振込口座: みずほ銀行九段支店普通1280457 口座名義: 山八歯材工業株式会社

銀行より発行されますお振込の控えをもって山八歯材工業株の領収書とさせていただきます。
キャンセルの場合の受講料返金は致しかねますので、予めご了承ください。

インプラントオーバーデンチャー(IOD)の利点

超高齢化を背景としてIODは比較的侵襲が少なく低コストでありながら、患者満足度の高い治療といわれています。しかし、上顎においては、皮質骨が薄い、骨密度が低い理由からインプラント埋入本数が4本か6本以上でないとい失敗するといった話も聞かれます。年金の問題等、社会情勢にも鑑み、多数の老人に対する費用負担の少ないIOD治療が望まれるところです。私は、先人達が積み上げた義歯製作法の基本と自身の臨床経験を加味した義歯製作方法を構築してきました。その吸着性からすっぽんのように一度食らいついたら外れない「すっぽんデンチャー」と名付けられた総義歯製作法です。これに補助装置として適切なアタッチメント、必要最低限のインプラントを埋入することで費用負担の少なく予後のよいIODが製作できます。本講演は、なぜ上顎のIODは失敗してしまうのか? 失敗症例の紹介、すっぽんデンチャーとは、総義歯作製のポイント、埋入のポイント、IODに最適なインプラント、アタッチメントの選択、などについてお伝えしていきます。私の講演が明日の臨床に少しでもお役に立てばうれしい限りです。

お問い合わせ | 山八歯材工業株式会社 インプラント営業所 TEL 03-3295-3451

11/18(日)インプラントオーバーデンチャーセミナー 受講申込書

ご記入の上、03-3295-3452までFAXにてご返信ください。

(フリガナ ローマ字)
御名前

DR DT DH

御住所

E-mail

医院名

TEL

FAX